

令和2年8月4日

文京区障害者地域自立支援協議会 就労支援専門部会報告

令和元年度下命事項：これまでに抽出された課題やニーズなどの中から優先順位及び実現可能性を整理した上で、次期障害者・児計画に盛り込む施策を検討する。

第1回就労支援専門部会：現委員が携わる現場の現状について意見の共有を行った。

現状より、課題を4つに整理

- 1 就労を目指す方、支援者、雇用主、関係機関の分野を横断した障害者の就労支援に関する基本的な情報の共有が不足している
- 2 住み慣れた地域で安心して生活していくため、企業から地域へ、そして地域で支えていくノウハウの蓄積が不足している
- 3 工賃向上のため品質向上促進と就労継続支援B型利用者の制度利用に関する効果的な取り組みが不足している
- 4 短時間就労や在宅就労など多様なニーズに応えられる働き方の仕組み作りや体制の整備が不足している

第2回就労支援専門部会：第1回目より整理した4つの課題について、意見の共有を行った。

意見を3つのカテゴリーに分類

- 1 「制度・仕組み」に関すること
- 2 「情報共有・研修」に関すること
- 3 「理解啓発」に関すること

↓

副会長・部会長・副部会長・事務局の打合せを経て、以下の案を提案することとした。

- 1 「情報共有する上で、障害者就労に関する共通のプラットフォーム(基本情報)になるハンドブックの作成を行う」
- 2 「区役所にて超短時間雇用の実施」